

グッドウィン成長循環モデルの実証研究：ウェーブレット・コヒーレンスの応用
An empirical study of Goodwin's Growth Cycle: Application of Wavelet Coherence

明治大学政治経済学研究科 経済学専攻 1年

小笠原 裕太

OGASAWARA, Yuta

【論文要旨】

グッドウィン成長循環モデルはポストケインジアンPost-Keynesianの動学モデルにおいて重要な役割を担っている。しかし、現実の経済におけるグッドウィン成長循環モデルの有用性の有無については短期的に有用であるか、長期的に有用であるのかを含めて様々な研究がなされている。本論では、前半で日本の4半期データを用いることで短期的なグッドウィン成長循環モデルの有用性について議論を行い、後半で、OECD38か国の年次データを用いることで長期的なグッドウィン成長循環モデルの有用性について議論を行っている。グッドウィン成長循環モデルにおける雇用率と賃金分配率の関係は因果関係ではなく、連動性であることを踏まえ、ウェーブレット・コヒーレンスによる実証分析を行った。結果として、短期的にも長期的にもグッドウィン成長循環モデルの有用性が認められると結論付けられる。

【キーワード】

グッドウィン, 成長循環モデル, ウェーブレット分析, ウェーブレット・コヒーレンス